

**RICOH**

資料5

RICOH COMPANY, LTD.

Corporate Environment Division

## リコーグループの環境経営の実践と人材育成

持続可能なアジアに向けた大学における環境人材育成ビジョン  
～第2回検討会～

2007年 8月27日  
(株)リコー 社会環境本部  
本部長 谷 達雄

# 3Ps バランス



## 《3Ps Balance》

環境 (Planet)

社会 (People)

経済 (Profit)

3つがバランスの取れた状態

(環境負荷が、自然の再生能力の範囲内に抑えられている社会)

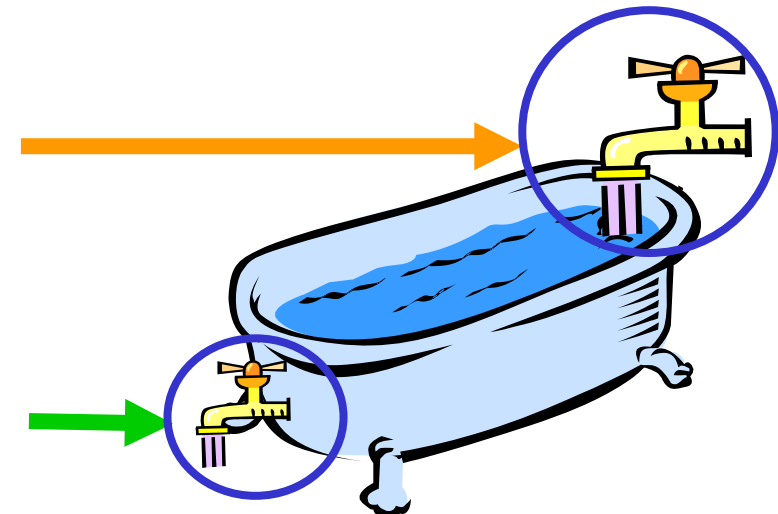
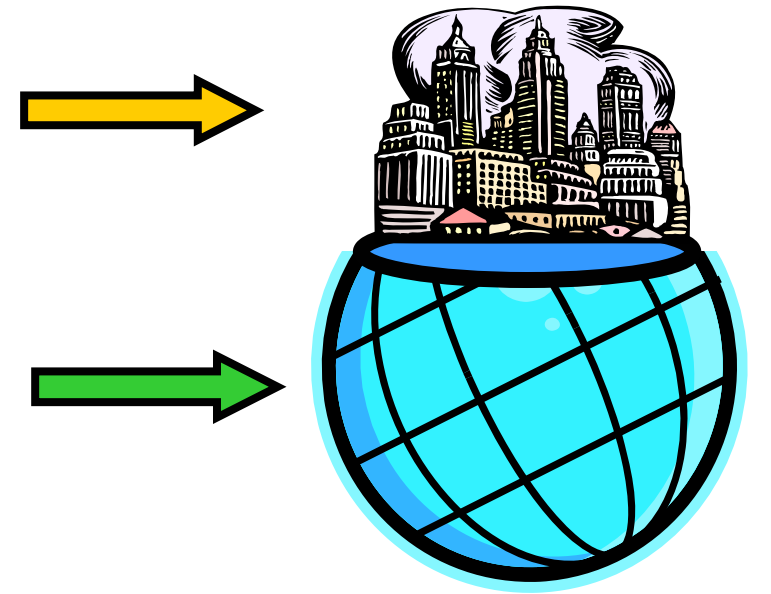
# 人間社会存続のための課題

地球が許容する  
環境負荷範囲内での社会活動  
(人間の活動による環境負荷の大幅削減)

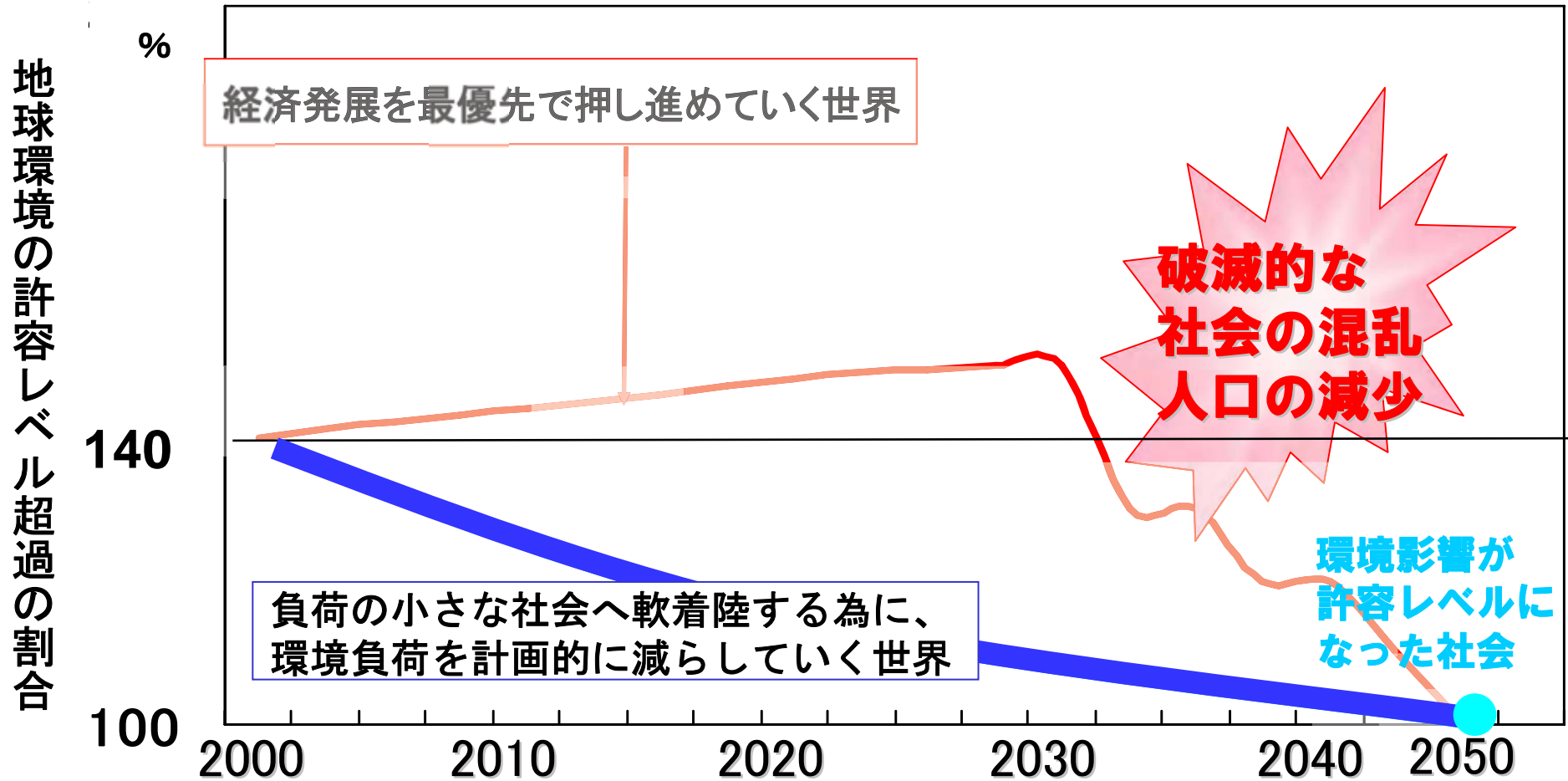
地球環境の再生能力の増大  
(水・空気・土・物質循環を保つ生態系を、  
維持・向上する)

→ 事業における環境負荷削減

→ 生態系(生物多様性)保全活動



# 地球の環境負荷が削減されるふたつのシナリオ

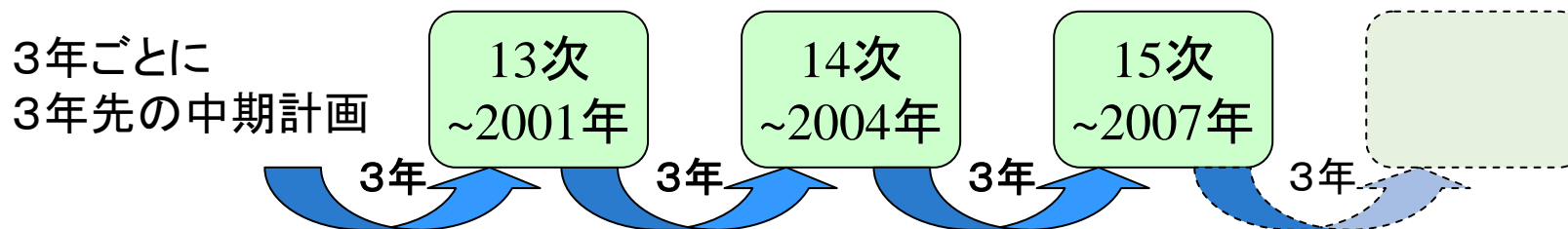


将来の社会と自社のあり方に明確なビジョンを有し、環境技術開発などによって  
予め備えが出来ており、社会の持続可能性のために必要な変化に貢献できる企業が、  
競争力を有し継続的に発展できる

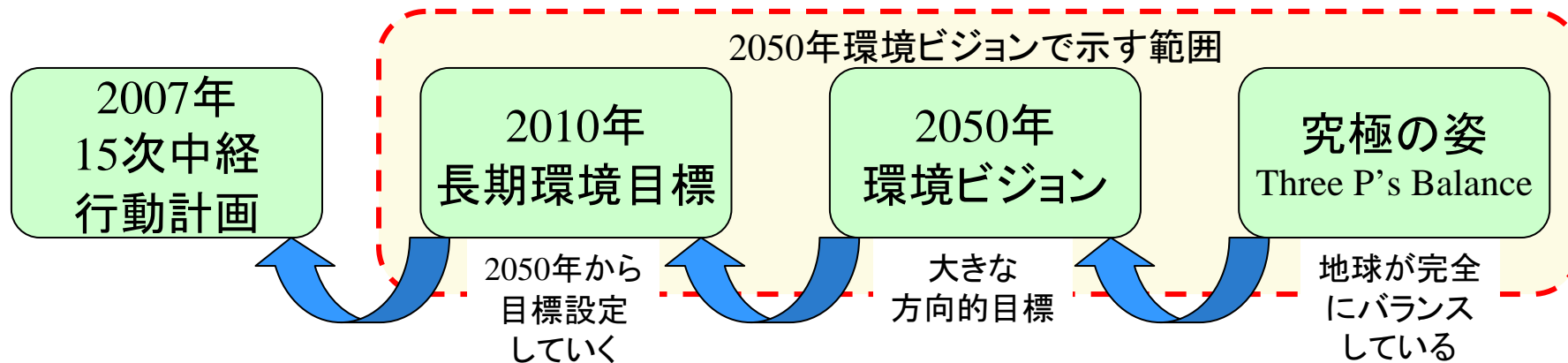
# バックキャストによる環境行動計画の立案

・従来のように3年ごとの環境行動計画の策定では、社会・競合の急速な変化に対応することさえできない。よって、積み上げての目標設定ではなく、長期的な視点であるべき姿から検討していき、環境行動計画を立てる方法を採用している。

## 従来の考え方:

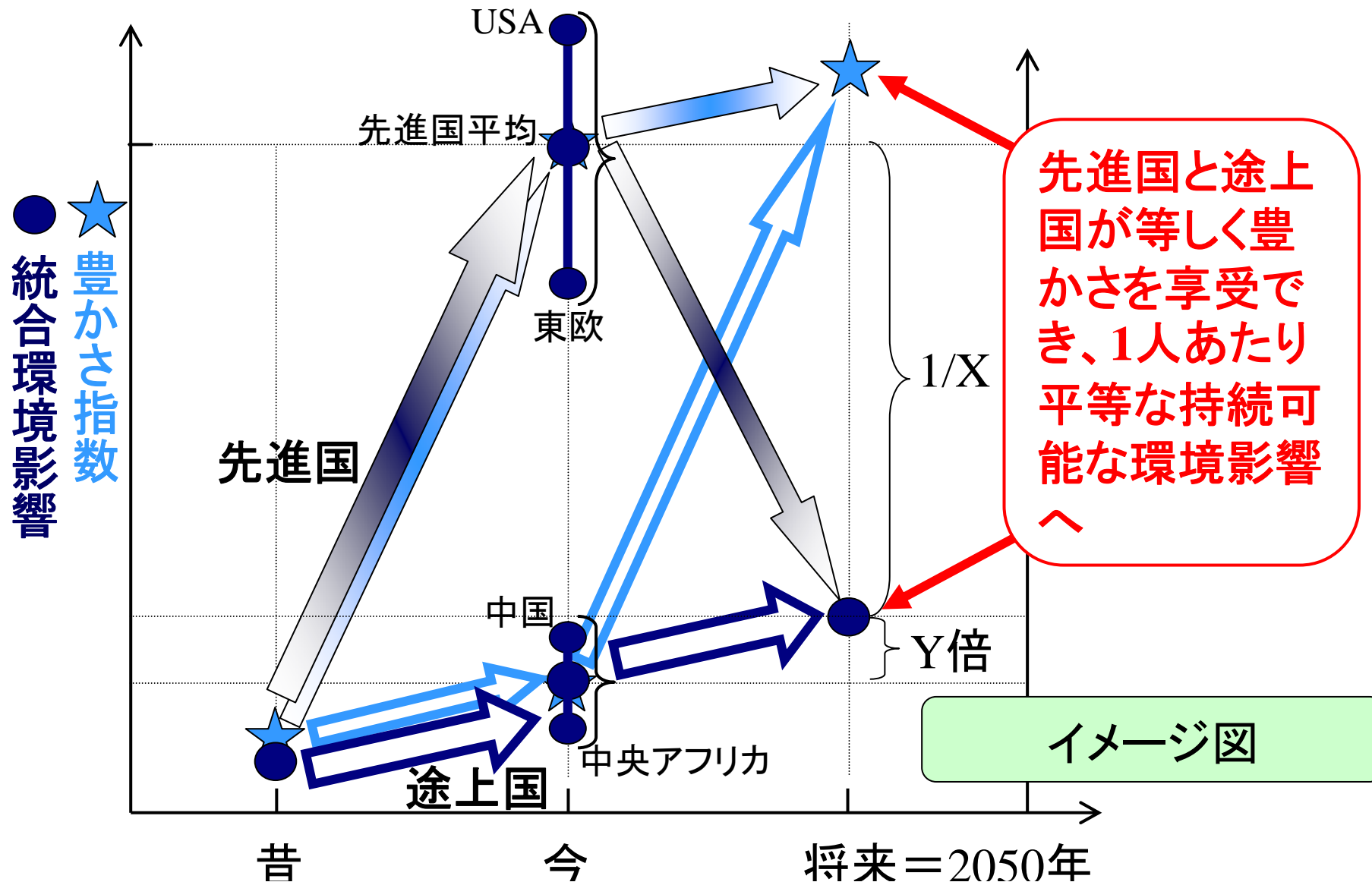


## 現在の考え方: 2003年より



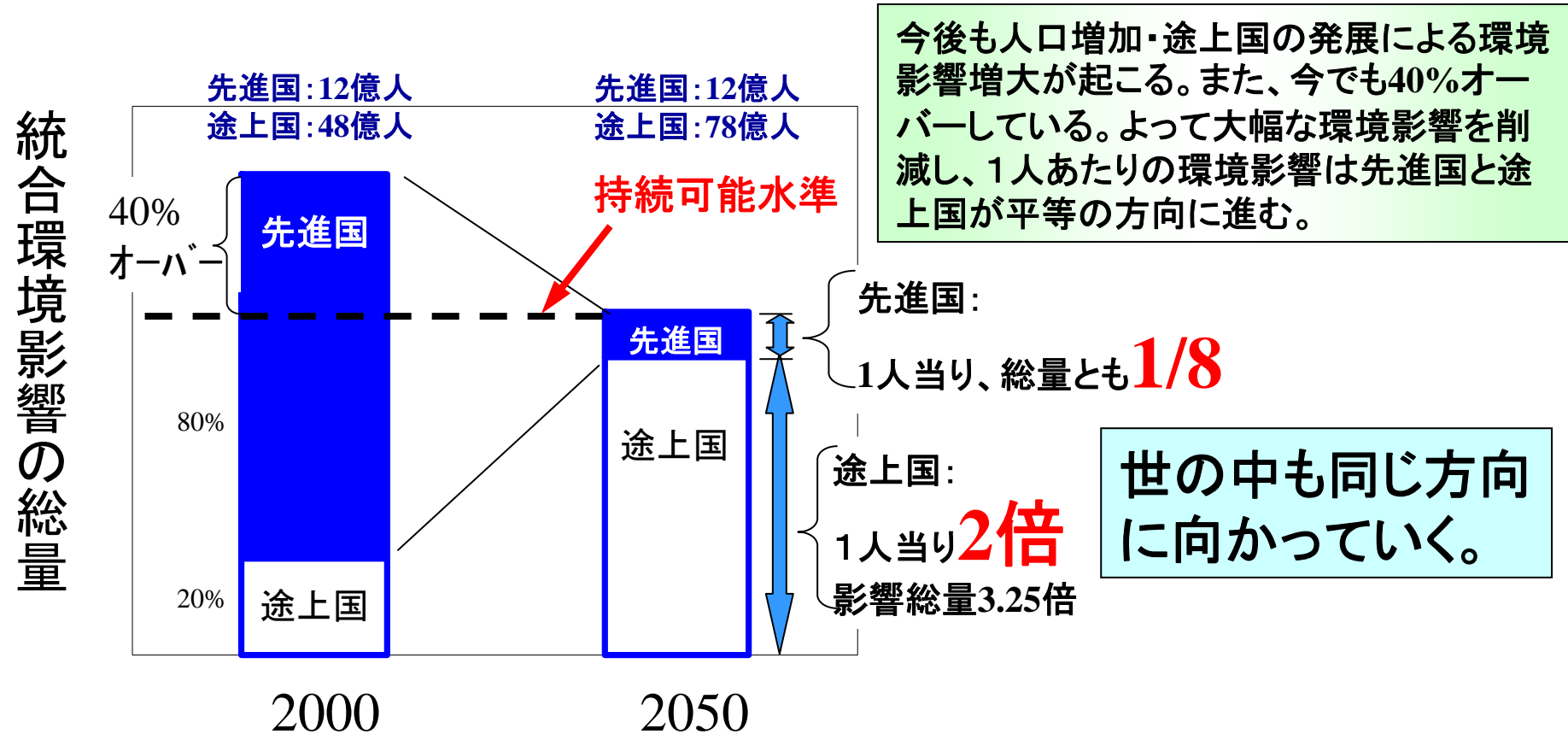
あるべき姿(究極の姿)を思い描き、未来から考えるバックキャスト方式を採用

# 社会のあるべき姿とそこ至るプロセス



※出展：(財)エネルギー総合工学研究所 第186回月例研究会 平成12年12月 講演資料『環境問題の現状と企業への期待』  
(山本良一：東京大学国際産学共同センター教授)

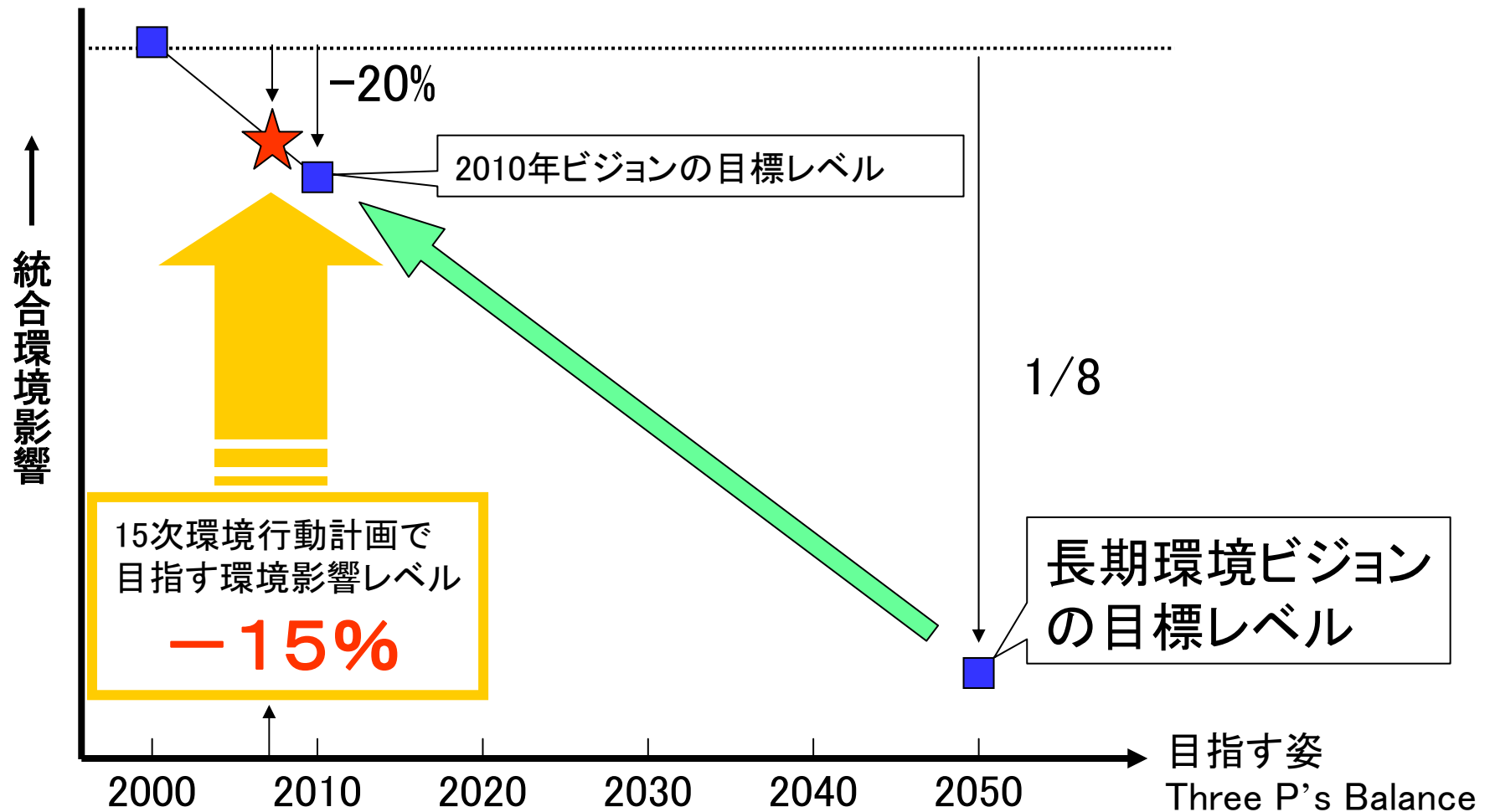
# 環境負荷はいくらまで下げなければならないか



## リコーの2050年環境ビジョンと成長戦略イメージ:

- ・先進国: 事業の統合環境影響を1/8 & シェア拡大
- ・途上国: 事業の統合環境影響を1/8を投入し、大幅拡大できる

# 事業が及ぼす統合環境影響の削減目標を制定

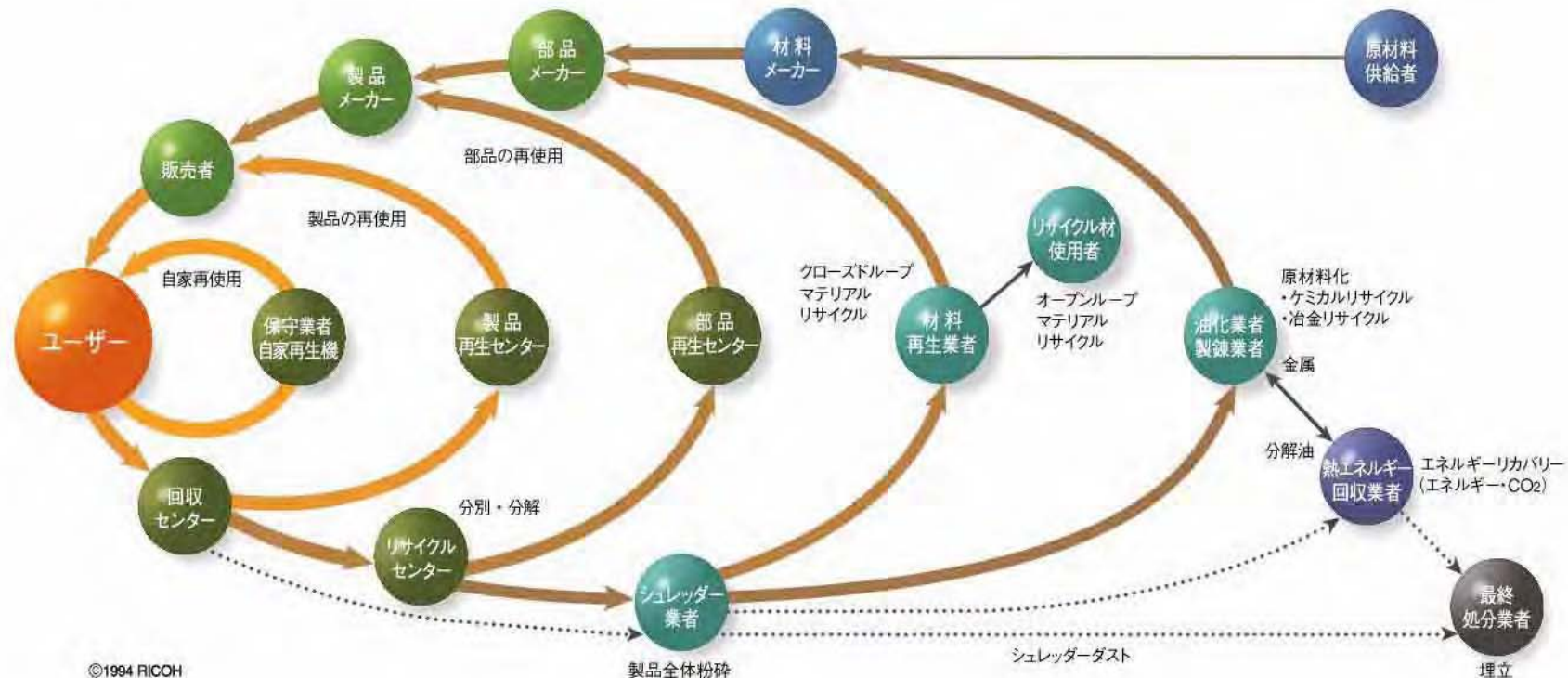


事業全体の統合環境影響 削減目標を達成するための戦略を策定し、  
環境行動計画として具体化



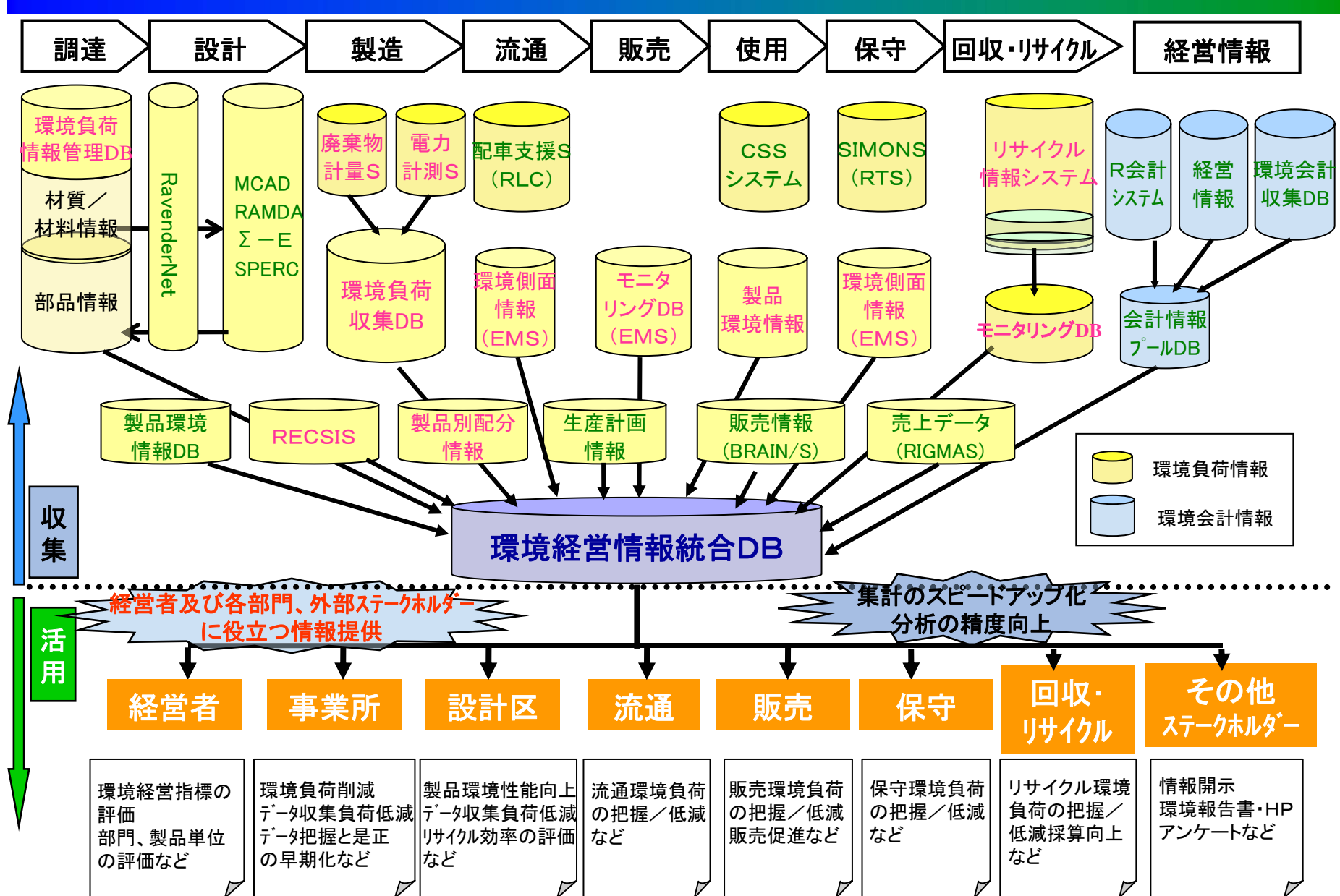
# コメットサークル: 環型社会実現のための概念

循環型社会実現のためのコンセプト「コメットサークル™」



- (1) 全ステージでの環境負荷の把握と削減
- (2) 内側ループのリサイクル優先
- (3) 重層的リサイクル
- (4) 経済合理性の確保による自律的循環の保証
- (5) 全てのステージとのパートナーシップ・情報の共有

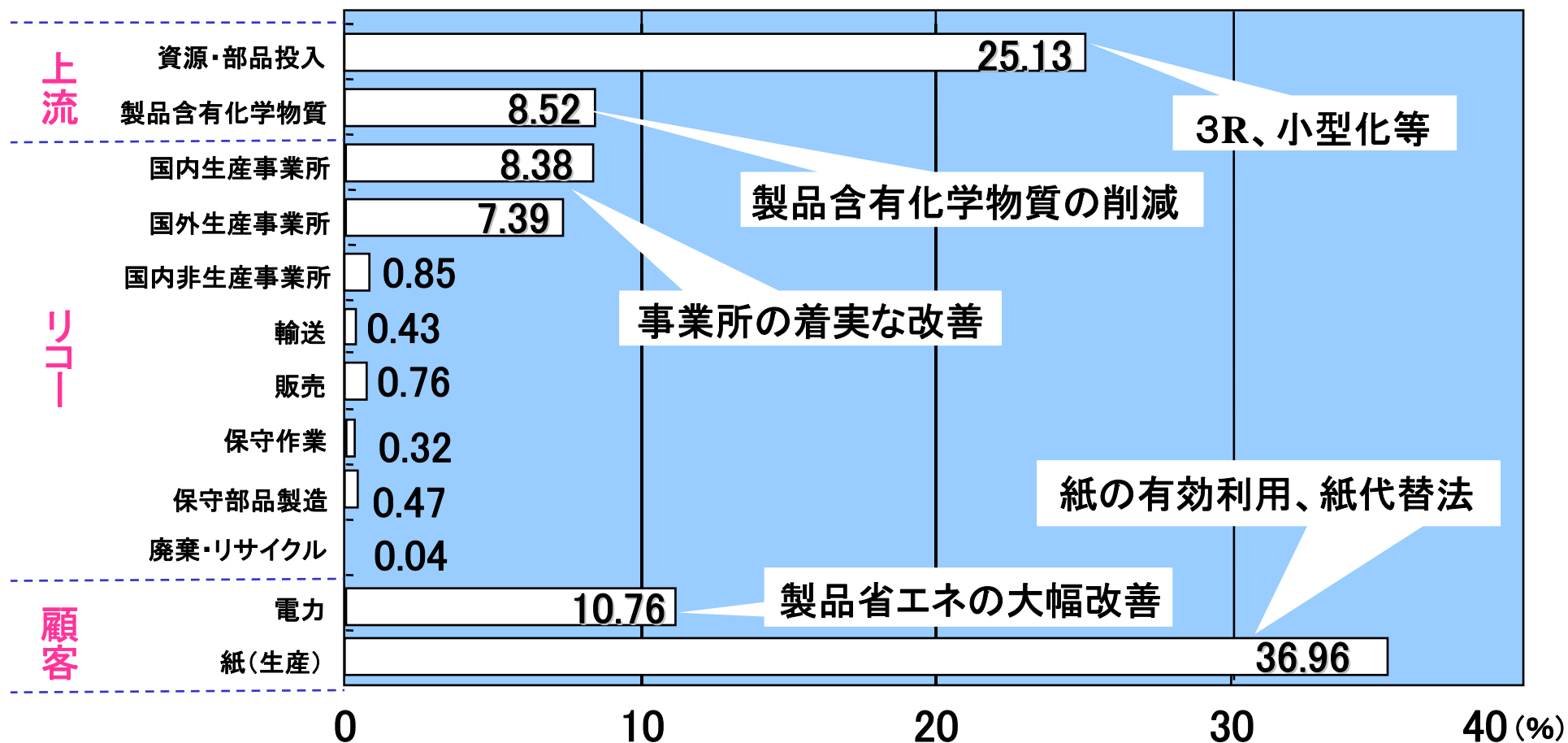
# 環境経営情報システム概念図



\* 1998年～2000年にかけて構築

# 事業活動が及ぼす統合環境影響の分析

事業活動に関わる全ての環境負荷を把握し重みづけをして統合（EPSを利用）

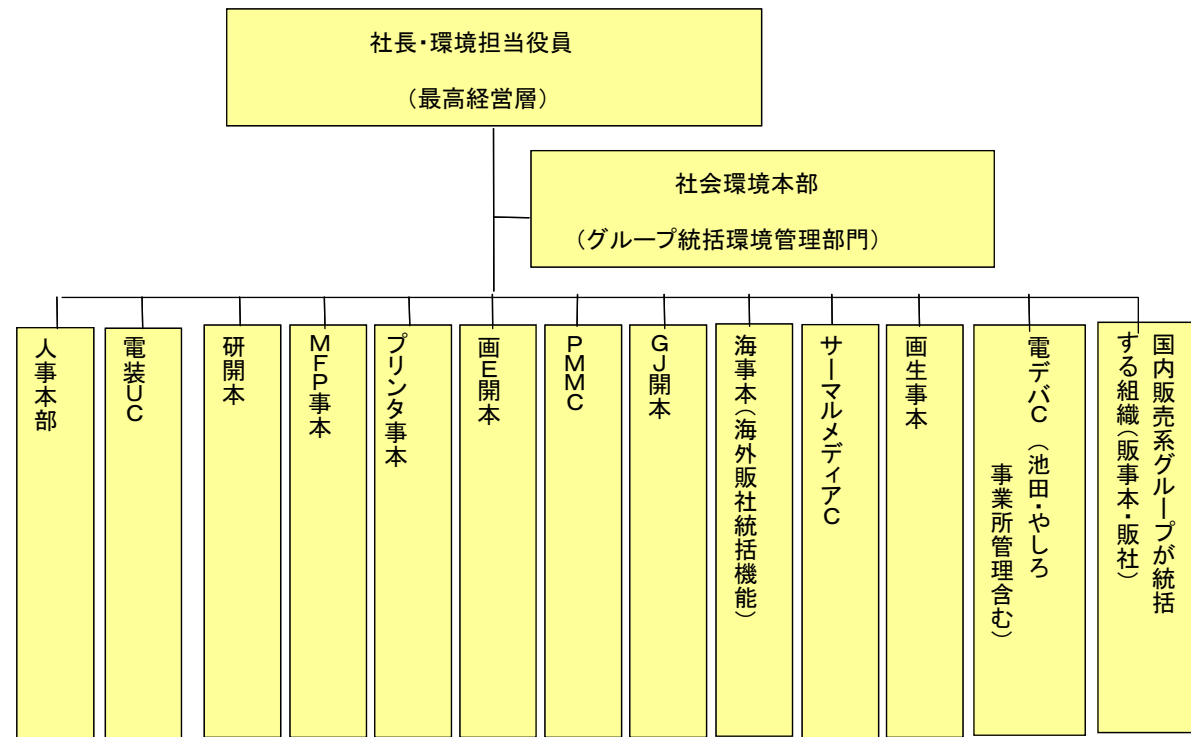


- ・上流部分の負荷が最も大きく、次にお客様の紙使用、電力使用部分での環境負荷が大きい。
- ・事業全体に関わる長期環境ビジョンを策定し、環境影響の削減目標を設定する。

## 事業全体の環境影響を15%削減する為の施策

	製品系	事業所系
省エネ	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 製品環境性能の向上と環境技術開発の促進</li><li>2. 顧客価値の創造に寄与するグリーン販売の推進</li></ol>	<ol style="list-style-type: none"><li>3. 事業所・オフィスでのコスト効果を狙った環境保全活動</li></ol>
汚染予防		
省資源		
マネジメント	<ol style="list-style-type: none"><li>4. 環境経営マネジメントシステムのレベルアップと、システム統合による一貫性向上</li><li>5. 生態系保全を目的とする環境社会貢献活動の推進</li></ol>	

# リコーグループ環境経営推進体制と社会環境本部の役割



## 社会環境本部のミッション

### 1. トップスタッフ機能

経営環境の変化、リコーグループとして実施したい事を考慮し、経営トップに対して環境経営に関してあるべき姿及び実現方法を提案する。

### 2. 横串機能

経営トップにより承認、決定された環境経営に関する方針・施策が事業部門、関連会社、他の本社部門に周知され、確実に実現されるように、展開、推進を行う。

### 3. サービス機能

方針を達成する上で、また日常の業務を遂行する上で、集約した方が効率的に実施できる機能を、本社部門で集中的に実施する役割。サービス業務は受益者負担の理由から原則として有料とする。

# リサイクル対応設計

## リサイクル対応設計方針策定の経緯

